

「イエス様から 目を離すな」

ヘブル人への手紙12章1~3節

1

11章の信仰の証人たち

- 信仰者の殿堂入り？
- 女たちは、死んだ身内の者たちをよみがえらせていただきました。また、ほかの人たちは、もっとすぐれたよみがえりを得るために、釈放されることを拒んで拷問を受けました。また、ほかの人たちは嘲られ、むちで打たれ、さらに鎖につながれて牢に入れられる経験をし、また、石で打たれ、のこぎりで引かれ、剣で切り殺され、羊ややぎの皮を着て歩き回り、困窮し、圧迫され、虐待されました。この世は彼らにふさわしくありませんでした。彼らは荒野、山、洞穴、地の穴をさまよいました。この人々はみな、その信仰によってあかしされましたが、約束されたものは得ませんでした。神は私たちのために、さらにすぐれたものをあらかじめ用意しておられたので、彼らが私たちと別に全うされるということはなかったのです。ヘブル11:35-40

2

11章の信仰の証人たち

- 目に見える成果がなかった信仰の証人たち
- この世の最後は最後ではない！
- ですから、私たちは落胆しません。たとえ私たちの外なる人は衰えても、内なる人は日々新たにされています。私たちの一時の軽い苦難は、それとは比べものにならないほど重い永遠の栄光を、私たちにもたすのです。私たちは見えるものではなく、見えないものに目を留めます。見えるものは一時的であり、見えないものは永遠に続くからです。2コリント4:16-18

3

アブラハムやモーセと同じチーム

- こういふわけで、このように多くの証人たちが、雲のように私たちを取り巻いているのですから、私たちも、一切の重荷とまわりつく罪を捨てて、自分の前に置かれている競走を、忍耐をもって走り続けようではありませんか。ヘブル12:1
- 堅く信仰に立って、この悪魔に対抗しなさい。ご存じのように、世界中で、あなたがたの兄弟たちが同じ苦難を通過してきているのです。1ペテロ5:9

4

イエス様から目を離さない

- 走るために捨てるもの
- 「これはやってもいいか(罪ではないか)?」
- 「これは走るのを助けるか?」
- 信仰の創始者であり完成者であるイエスから、目を離さないでいなさい。この方は、ご自分の前に置かれた喜びのために、辱めをもとめせずに十字架を忍び、神の御座の右に着座されたのです。ヘブル12:2
- イエス様から目を離さない。イエス様にロックオン!

5

イエス様から目を離さない

- 私は、すでに得たのでもなく、すでに完全にされているのでもありません。ただ捕らえようとして追求しているのです。そして、それを得るようと、キリスト・イエスが私を捕らえてくださったのです兄弟たち。私は、自分がすでに捕らえたなどと考えるべきではありません。ただ一つのこと、すなわち、うしろのものを忘れ、前のものに向かって身を伸ばし、キリスト・イエスにあって神が上に召してくださいという、その賞をいただくために、目標を指して走っているのです。ヒレビ3:12-14

6

イエス様から目を離さない

- 私は勇敢に戦い、走るべき道のりを走り終え、信仰を守り通しました。今からは、義の栄冠が私のために用意されているだけです。かの日には、正しい審判者である主が、それを私に授けてくださるのです。私だけでなく、主の現れを慕っている者には、だれにでも授けてくださるのです。 2テモ7:4:7-8
- あなたがたは、罪人たちの、ご自分に対するこのような反抗を耐え忍ばれた方のことを考えなさい。あなたがたの心が元気を失い、疲れ果ててしまわないようにするためです。 ヘブル12:3

7

イエス様から目を離さない

- 「失望したければこの世を見よ。絶望したければ自分を見よ。希望を持ちたければイエスを見よ。」
- 「わたしの望みは主イエスだけにある」
- 「イエスこそ岩なれ、堅固なる岩なれ、ほかは砂地なり。」
- クリスマスのいやしと元気の素はイエス様の愛と忍耐。十字架と復活が私たちの力。

8

イエス様から目を離さない

- 讚美歌270、2番 「わが主を頭と仰ぎ見れば、力の泉は湧きて尽きず。恵み深き主の御傷みまつれば、わずかに残る火ふたび燃ゆ。」
- というのは、キリストの愛が私たちを捕らえているからです。私たちはこう考えました。一人の人がすべての人のために死んだ以上、すべての人が死んだのである、と。キリストはすべての人のために死なれました。それは、生きている人々が、もはや自分のためではなく、自分のために死んでよみがえった方のために生きるためです。 2コリント5:14-15

9

イエス様から目を離さない

こういうわけで、このように多くの証人たちが、雲のように私たちを取り巻いているのですから、私たちも、一切の重荷とまわりつく罪を捨てて、自分の前に置かれている競走を、忍耐をもって走り続けようではありませんか。信仰の創始者であり完成者であるイエスから、目を離さないでいなさい。この方は、ご自分の前に置かれた喜びのために、辱めをものともせず十字架を忍び、神の御座の右に着座されたのです。あなたがたは、罪人たちの、ご自分に対するこのような反抗を耐え忍ばれた方のごことを考えなさい。あなたがたの心が元気を失い、疲れ果ててしまわないようにするためです。ヘブル12:1-3

10